



Red Hat Insights 2022

Red Hat Cloud Access が管理する既存の RHEL
システムに Red Hat Insights をデプロイする

ガイド

Red Hat Insights 2022 Red Hat Cloud Access が管理する既存の RHEL システムに Red Hat Insights をデプロイする

ガイド

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Deploying_Red_Hat_Insights_on_existing_RHEL_systems_managed_by_Red_Hat_Cloud_Access file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Red Hat Cloud Access (RHCA) が管理するプロビジョニングされた Red Hat Enterprise Linux (RHEL) システムに Insights for Red Hat Enterprise Linux をデプロイするユーザーは、以下のガイドを参照してください。

目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化	3
RED HAT ドキュメントへのフィードバック	4
第1章 INSIGHTS FOR RED HAT ENTERPRISE LINUX デプロイメントの概要	5
1.1. クライアントパッケージのインストール	5
1.2. INSIGHTS FOR RED HAT ENTERPRISE LINUX へのシステムの登録	5
第2章 INSIGHTS の結果の表示	6

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#)をご覧ください。

RED HAT ドキュメントへのフィードバック

弊社のドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックを提供するには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加します。

前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルでは、このドキュメントは **Multi-page HTML** 表示形式です。

手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **フィードバック** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



注記

フィードバック機能は、**マルチページ HTML** 形式でのみ有効です。

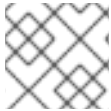
2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. ハイライトされたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題リンクをクリックします。

第1章 INSIGHTS FOR RED HAT ENTERPRISE LINUX デプロイメントの概要

Red Hat Cloud Access に接続している既存の Red Hat Enterprise Linux (RHEL) システムに Insights for Red Hat Enterprise Linux をデプロイするユーザーは、以下のガイダンスを参照してください。

この手順には、以下のタスクが含まれます。

- システムへの insights クライアントのインストール



注記

{note-rhel8-long}

- システムを Insights for Red Hat Enterprise Linux アプリケーションに登録

1.1. クライアントパッケージのインストール

各システムにクライアントパッケージをインストールします。

手順

1. 以下のコマンドを実行し、現在のバージョンの insights クライアントパッケージをインストールします。

```
[root@server ~]# yum install insights-client
```

1.2. INSIGHTS FOR RED HAT ENTERPRISE LINUX へのシステムの登録

Insights for Red Hat Enterprise Linux サービスと通信し、Insights for Red Hat Enterprise Linux アプリケーションコンソールに表示される結果を確認するには、システムを登録します。

手順

1. 以下のコマンドを実行して、システムを登録します。

```
[root@server ~]# insights-client --register
```

第2章 INSIGHTS の結果の表示

システムおよびインフラストラクチャーの結果は、Insights for Red Hat Enterprise Linux アプリケーションダッシュボードで確認できます。

このダッシュボードは、利用可能な各 Insights サービスへのリンクを提供します。これには、Advisor、ドリフト、脆弱性、コンプライアンス、ポリシー、およびパッチが含まれます。この開始点から、システムセキュリティ、パフォーマンス、安定性、および可用性に影響する問題をプロアクティブに特定し、管理することができます。

前提条件

- insights-client パッケージがシステムにインストールされている。
- [Red Hat Hybrid Cloud Console](#) のログインアカウントがあり、Insights for Red Hat Enterprise Linux ダッシュボードを確認できる。

手順

1. Insights for RHEL ダッシュボードにアクセスします。
2. ダッシュボードが表示されたら、Inventory タブをクリックします。
3. Insights クライアントに登録したシステム名のリストにシステム名が表示されることを確認します。